



♪みんなで手と手つなぎあっていま～♪と踊りながら歌って…

- 聖書についてもっとよく知る必要があるということ。
- 信仰によって私たちは未来をもっとよくすることができるし、教会も成長し、家庭も神の祝福を受けるとのこと。
- 私たちは神の家族、キリストの家族。世界のどこにでも兄弟姉妹がいるということ。
- 文化の違いがどんなに大きくても、私たちは兄弟姉妹として信仰や祈り、資源を分かち合い、交流を保っていくことができる。
- 神の恵みのもとで、いつも互いに学び合っていくことができる。
- 聖書の解き明しによる神の言葉を通して、私たちも愛することができるようになるということ。



質問3

マキコの働き方に接して、何があなたの自己評価や主体性や愛を強化したと言えますか？

- 彼女は愛をもって助けることを使命としている。助けを必要としている人々の困窮に対してとても深い感受性を持っている。
- 他者の困窮状態に心を配るということ。隣人愛とはどういうものかを学んだ。
- ポ語で話すことが難しくてもあきらめず、彼女の挑戦していく姿を見て、私たちも障害を乗り越えることができると思えるようになった。
- 愛を伝えてくれたこと。
- 彼女の笑顔、人格、生まれつきの素養のなかに愛が輝いている。そのような愛の有り方をすべての兄弟姉妹に教えてくれた。



- マキコ、あなたを愛しています。
- 人々の困難を解決させるために役立ちたいという彼女の意志を見て、もっと勇気を出して困難と向き合い、状況を改善することを望まなければいけないと教えられた。
- 異なる文化に属する人々と共に働こうとするマキコの強い意志によって教えられたのは、私たちは神の宣教において兄弟姉妹であるということ。

- 彼女は私たちの自己評価を高めた。彼女の明るい振舞いによって、もっと隣人を愛し、自分自身をも愛さなければということを読んだ。
- 私と共同体に対してしてくださったすべてを、ありがとう！
- 彼女は私たちに問いかけ、考えさせ、考えられるように助けてくれた。そのことによって私たちは成長し、主体性を持てるようになってきた。
- 忍耐と希望をもって困難に向き合うマキコの態度を見て、困難は存在してもいつかは解決するものだという事を教えられた。
- マキコのもっとも貧しい人々への愛によって、神の前での平等、神の愛のしるしとしての連帯について、私たちがさらによく考えなければいけないと教えられた。



ダンスグループの娘たちは、日本をイメージした創作ダンスを披露。

